

令和6年が希望に満ちた未来への幕開けとなることを祈念しています



衆済会増子記念病院
理事長・院長 両角國男

令和6年は元旦にマグニチュード7.6の大地震が能登半島で発生し暗い幕開けとなりました。甚大な被害を被った輪島市民病院では停電と断水に陥り復旧の見込みが立たない段階で最初に行ったのは70名余の透析患者さんを治療できる施設への移送でした。東日本大震災や阪神淡路大震災を経験し、震災下でも透析患者さんを治療可能な病院で引き受けるシステムです。昨年8月に逝去されましたクリニック昂院長の山崎親雄先生が日本透析医会会長として先頭に立ち全国の仲間と作り上げた支援体制です。

山崎親雄先生は増子記念病院、クリニック昂の今日を作り上げましたが、日本の透析療法「良心」と全国の透析医から敬愛され慕われていました。増子記念病院、クリニック昂の全職員はもとより多くの患者さんの中に大きな喪失感が今も残っているものと思います。心より哀悼の意を表します。山崎先生の愛した増子記念病院とクリニック昂をさらに良い病院とするため全職員一致団結し、患者さんと手を携え大きな力で進んでいくことをお誓いします。遠い天の「すばる」から温かく私たちをお見守りください。

地球温暖化の影響により気温が高く冬とは思えない日々でしたが、その後の寒波襲来では一層寒さが身に届いたことと思います。コロナに加えインフルエンザも流行中です。体調維持に十分にお気配りください。第一次産業革命以降の便利で暮らしやすい生活環境を享受するあいだに環境保護を怠り環境破壊を進めた結果が地球温暖化です。

環境破壊への報復でしょうか地球規模で甚大な被害が発生しています。南極大陸での氷山消失からの海面上昇による陸地減少、広範な山火事が世界中で発生、世界各地で集中豪雨による洪水被害などの災害が発生しています。近年の科学進歩は素晴らしくiPS細胞関連の研究、臓器再生への期待、難治性疾患への新しい治療薬の登場、遺伝子操作ブタからの心臓や腎臓の異種移植など目覚ましいものがあります。しかし、甚大な被害をもたらす大災害の予知も根本的災害軽減も現在の科学では対応できません。便利で快適な暮らしを手に入れると後戻りすることは困難です。しかし、今何をすべきかを考えることが必要です。残念ですが世界のあちこちで宗教や民族の根幹にかかわる禍根からの戦争が多発しています。さらに自己中心的で他者は関係ないとの姿勢がこの不幸の背景にあります。日本でも社会との信頼関係が希薄となっている今だからこそ、ヒトとして大切なものや社会との温かい交流を取り返すことが必要と感じます。増子記念病院、クリニック昂は全力で患者さんのための医療を展開していきます。

令和6年が皆様にとって良き年でありますように祈念しています。



認知症・せん妄サポートチームのご紹介

最近、認知症やMCI（認知症前症状）という言葉がテレビや広告などでよく耳にします。認知症は、もの忘れと間違われやすいですが、1つの診断名ではなく、さまざまな原因によって、今まで普通にできていたことが持続的にできなくなり、日常生活や人間関係に支障をきたす状態をいいます。認知症の原因はさまざまです。原因により症状もさまざまのため、人によって強く出る症状が変わります。認知症を正しく知ること、認知症と言われたとしても、周りのサポートがあれば、これまでの生活を安全に安心して続けることができます。

当院では、2000年より『認知症・せん妄サポートチーム』として本格的に活動を開始しました。気になる方は、主治医や看護師に声をかけていただくと、日常生活のお困りごと、気になっていることなど、話を聴かせていただき、必要があれば受診や検査などの手続きを行います。

また、家族や身近な人の行動が見ていて気になる、心配などのご相談も相談に乗りますので、お聞かせください。



5人の「腎臓リハビリテーション指導士」が誕生しました！！

「腎臓リハビリテーション」とは、腎臓病や透析医療に関わる「からだ」や「こころ」のさまざまな影響を軽減させることを目的とした運動や生活指導、さらには精神・心理的サポートを行う包括的なプログラムで、「日本腎臓リハビリテーション学会」が決めました。

その中でより専門的な知識で円滑にチーム医療を推進することを目的に「腎臓リハビリテーション指導士」制度が充足され、2018年に第1回の指導士試験にて当院から3名、2023年の試験で2名のスタッフが合格、計5名の「腎臓リハビリテーション指導士」が当院に在籍する体制となりました。

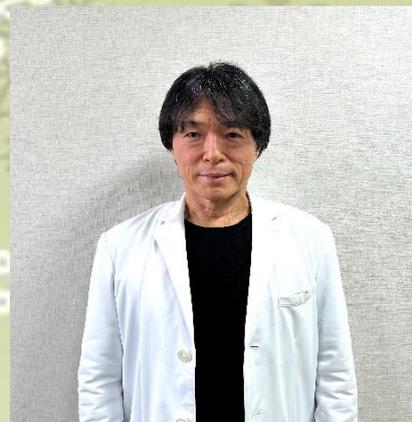


当院リハビリテーション科は「腎臓リハビリテーション」を始め、糖尿病、足病変、骨粗鬆症等、「からだ」や「生活」に関する専門知識や資格を有したスタッフが多く在籍しています。どんな些細なことでも、気になること、不安なことなどがございましたらいつでもお問い合わせください。

クリニック昴 院長 小山寛一先生のご紹介

この度、山崎親雄前院長の後任としてクリニック昴の院長に就任致しました。

私は、透析クリニック（稲葉地分院、則武分院）の時代から、クリニック昴の現在までの約20年間にわたり透析医療に携わってまいりました。そして患者の皆様と共に年齢を重ね、透析医療につき、沢山の貴重な経験をさせていただきました。



クリニック昴は今年で19年目を迎えますが、これまで山崎先生のご尽力により、当クリニックは社会に信頼され、患者の皆様にとって安心できる医療環境が提供されてまいりました。

「安全」で「長生き」で「いつまでも元気」という言葉が、クリニック昴の理念を象徴しています。患者さんが安心して治療を受け、健康的な生活をいつまでも送れることが、私たちの願いです。透析治療は患者さんにとって大変なものでありますが、いつまでも元気で、自分の力で通院でき、生活ができることを私たちの目標としています。

医療は患者さんを中心に医師、医療スタッフのチームワークが不可欠であり、皆様の協力なしには成り立ちません。皆様の信頼と協力を基に、皆様と一丸となってクリニック昴をより良いものにしていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

昨今の医療事情は厳しい時代を迎えており、高齢化社会、限られた医療資源の有効活用、医療従事者の労務管理の厳格化も求められる状況となっております。

このように難しい時代となっておりますが、これからも患者の皆様健康と幸福を第一に考え、最新の医療技術や情報を取り入れ、最善の医療を提供できるクリニックを目指します。今後ともクリニック昴を宜しくお願い申し上げます。

「ますこ・すばる新聞 令和6年新年号」

発行元：増子記念病院 広報委員会（令和6年1月）

医療法人 衆済会 増子記念病院

〒453-8566

名古屋市市中村区竹橋町35番28号

TEL (052) 451-1307 / FAX (052) 451-1324

公式HP：<https://www.syusaikai.com/>

増子クリニック昴

〒453-0856

名古屋市市中村区並木1丁目322番地

TEL (052) 412-8211 / FAX (052) 414-2962

公式HP：<http://www.hd-subaru.jp/>